

## 「世界湖沼会議」のHSプレ会議に本校生が参加。

◆今号の記事は、生徒引率をした大村先生（理科担当）が書いてくれました。

7月17日（月）**海の日**に霞ヶ浦総合公園会議室（茨城県土浦市大岩田1051）において、平成30年10月15日から開催される「**第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）**」のプレ会議の一環である「**ハイスクール・プレ会議**」が行われました。

県内より県立高校や私立高校など**11校**が参加し、本校からも5年次の小野寺さんが参加しました。「ハイスクール・プレ会議」は、次世代を担う高校生たちが日頃の研究成果や環境学習などの活動や成果を発表し合い、意見を交わすことで、**水環境や生態系への理解を深め**、それぞれが世界湖沼会議に向けての取り組み方や**参加意義を考える機会**として行われました。

「ハイスクール・プレ会議」は、**2部**からなり、最初は茨城大学農学部教授の黒田久雄先生より「**第17回世界湖沼会議に向けて 若者に望むこと**」というタイトルで**基調講演**が行われました。世界湖沼会議の意義や「霞ヶ浦宣言」、持続可能な開発目標など分かりやすいお話がありました。霞ヶ浦とその流域の問題は水質の問題だけではなく、今後の地球環境の環境問題を考える上で、これほど良いフィールドは見当たらないということで、**霞ヶ浦の重要性**がよく分かりました。

その後、**11校**の代表の高校生から**研究活動の報告や発表**がありました。科学部で行っている純粋な研究から、環境を守るために学校で行っている活動、霞ヶ浦で活動している部活動のことまで多岐にわたる内容でした。

本校の小野寺さんは、1年次から5年間行っている研究の発表をしました。樹幹上で生育している**地衣類の分布や種類から微環境を見える化する**ために行ってきた様々な研究のまとめを行いました。来年度の世界湖沼会議に向けて、さらに研究を進めていきたいという意気込みも話しました。

今回の会議に参加し、霞ヶ浦を通して、**地球環境を見つめた1日**となりました。

